

第4期産業振興アクションプラン：取組評価シート

資料2

1	第6次 総合計画 の位置づけ	取組番号	5-2-2
2		取組名	事業活動の支援
3		現状と課題	グローバル化や人材不足、情報化の進展など、社会経済情勢の変化を受けて事業者の経営環境は厳しく、ICTの活用や人材確保、生産性の向上などが課題となっています。市内事業者の操業継続を支援する施策を展開し、市内産業の活性化を図ることが求められています。
4		めざすべき姿	市内事業者の操業継続、成長志向のある事業者の取組により、地域経済が発展しています。
5		取り組むこと	企業訪問や経営相談等により、市と事業者の関係性を深めるとともに、事業者の認知向上による販売促進や人材確保、生産性向上に向けた取組の促進など、事業者の操業継続を支援します。
6	本プランで の重点取組	小規模・中規模企業とも、従業者数の減少や人材不足が課題となっています。この状況は今後さらに深刻になると予想されること、また令和5年度から実施した「オープンカンパニー」などの認知度向上の取組が、企業の魅力等を伝える有効な方法であることから、「人材確保の支援」「認知度向上」を重点取組として実施します。併せて、事業者との地域活性化に向けた「共創」の取組について、さらなる件数増をめざします。	
7	現状と課題 (中長期視点)	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンカンパニーの取組については、参加企業が主体となった事業展開が必要である。 ・事業者の認知向上、販売促進への取組について、産業活性化プロジェクト促進事業において認知度向上事業の申請は毎年あるが、付加価値向上事業への申請がこの数年あがっていない状況にある。 	
8	課題解決の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンカンパニーの実行委員会が令和6年度から始動しており、今後は、参加者間の実行委員会がイベント企画を担当するなど、長期的に事業を実施する仕組み作りが必要。 ・事業者の認知向上、販売促進への取組については、認知度向上に寄与する事業への支援を継続するとともに、特産品の開発支援を促す工夫が必要。 	
9	基本取組	人材確保の支援★(重点取組) 人材育成の支援 生産性向上の支援 販路開拓 認知度向上★(重点取組) 資金繰りの支援 商業団体の活動支援	

10	成果指標	成果指標	単位	目標値(実績値R8年1月末時点)				
				R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
		事業者による地域支援や地域活性化に向けた取組件数	件/年	11(7)	13	15	17	18
		先端設備導入計画認定	件/年	6(6)	6	7	7	7
		オープンカンパニーへの参加企業数	社	9(14)	11	13	14	15
11	取組の 評価	R7年度評価	評価理由(R7年度の取組の成果を踏まえた評価)					
		a	a: 順調に進行 b: おおむね順調に進行 c: 進行にやや遅れ d: 進行に大幅な遅れ	事業者による地域支援や地域活性化に向けた取組件数は、令和6年度の9件から減少した。商店街によるイベント等への助成件数が減少傾向にあるが、様々な事業者と連携したイベント等の取組は継続して実施されている。先端設備導入計画については、目標値の達成をしており、引き続き計画策定への支援が必要である。オープンカンパニーについては、参加企業数が令和6年度の7社から2倍の14社に増加し、参加者数ともに順調に推移している。				
		—	—	事業者による地域支援や地域活性化に向けた取組件数の達成率は64%である一方、先端設備導入計画認定、オープンカンパニーともに100%を超える達成率であることを踏まえ、「順調に進行」の評価とする。				
12	取組に おける課題 (今後の取組)	R7年度末現在の取組における課題						
		課題①	オープンカンパニーの取組については、参加企業と調整しながら実行委員会と市の役割分担を決めていくことが必要である。					
		課題②	特産品の開発支援について、既存の補助金の条件拡充を含めて見直しを検討する。					

第4期産業振興アクションプラン：取組評価シート

資料2

1	第6次 総合計画 の位置づけ	取組番号	5-2-3
2		取組名	事業者の創出や成長促進
3		現状と課題	民間の支援機関とも連携して創業支援には重点的に取り組んでいますが、事業者同士の交流や販路開拓など創業後の事業継続・発展につながる支援も求められています。また、大学の立地など、本市の強みを産業振興にいかす取組が重要です。
4		めざすべき姿	創業希望者の支援や産学連携・事業者連携の推進により、多様なビジネスへのチャレンジや創業者の増加、付加価値の創出など、地域産業の新陳代謝が促進されています。
5		取り組むこと	商工会議所、金融機関、大学など、地域の主体と連携し、創業や新事業展開へのチャレンジを支援します。
6	本プランでの重点取組	創業にかかる相談件数は増加傾向にあり、引き続き創業支援に取り組むとともに、事業者の交流の場や創業後の継続的な支援が必要なこと、また大学が多いという本市のポテンシャルを活かし、事業者と大学・学生の交流を促進し、様々な連携・「共創」の取組を進めることが重要であることから、「創業支援」「産学連携の取組」を重点取組として実施します。	
7	現状と課題 (中長期視点)	<ul style="list-style-type: none"> ・創業に向けたスタートアップ支援は充実しているが、創業後の支援はあまり実施できていない現状にある。 ・大学と市内企業との連携事例が生まれているが、その多くが彩都に所在するバイオ系企業が占めている。 	
8	課題解決のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・創業後の事業継続に向けたサポートや交流の機会の創出が必要。 ・産学連携サロン等、大学と市内企業が出会う機会をより積極的に創出することが必要。 ・産学連携事業について、製造業やサービス業、飲食業等、多様な事業分野の事例が増えるよう働きかけが必要である。 	
9	基本取組	創業支援★（重点取組） 企業立地支援 新商品開発・新事業展開 産学連携の推進★（重点取組）	

10	成果指標	成果指標		単位	目標値（実績値R7年12月末時点）				
					R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
		創業支援等事業計画における創業実現者数		人/年	120 (89)	124	128	132	136
		産学連携による取組件数		件/年	4(6)	4	5	5	6
11	取組の評価	R7年度評価	a: 順調に進行 b: おおむね順調に進行 c: 進行にやや遅れ d: 進行に大幅な遅れ	評価理由（R7年度の取組の成果を踏まえた評価）					
		a		創業促進事業補助金、相談件数等の支援件数は令和6年度と同程度の件数であり、堅調である。各種セミナーの参加者についても堅調で、特に女性向けセミナーについては早期に定員超過となった。新たな取組として、創業支援後のアフターフォローも実施し、開業後の事業者を訪ね、創業後の状況確認や補助金の案内等を実施した。産学連携については、スタートアップ時を支援する取組により産学連携が行われ、新たな付加価値を生み出すきっかけとなっている。いずれの成果指標も目標値の80%程度を達成しており、「順調に進行」の評価とする。					
		—	—						
12	取組における課題 (今後の取組)	R7年度末現在の取組における課題							
		課題①	創業支援においては、現在の相談支援や補助金によるスタートアップ支援に加え、事業者間の交流機会を創出することで、創業の機運醸成と創業後の支援のさらなる充実を図る必要がある。また、事業承継支援のあり方について検討していく必要がある。						
		課題②	産学連携事業については、多様な事業分野に広がるような仕掛けを検討していく必要がある。						

第4期産業振興アクションプラン：取組評価シート

資料2

1	第6次 総合計画 の位置づけ	取組番号	5-2-4
2		取組名	観光の振興
3		現状と課題	豊かな自然や歴史・文化資源、四季折々のイベントなど、本市の地域資源をいかした取組を進めていますが、新たな観光資源の創出を契機に、さらに本市への来訪や市内での回遊・活動を促進することが必要です。
4		めざすべき姿	多様な主体と連携しながら、本市の魅力の磨きあげ・認知向上を図ることで、本市への来訪や回遊・消費の促進、好感・愛着の形成につながり、持続的な地域活性化が図られています。
5		取り組むこと	観光協会をはじめ民間団体や事業者・近隣市とも連携しながら、体験や消費につながる魅力的なコンテンツの充実に取り組み、ターゲットに訴求するよう効果的なプロモーションを行います。
6	本プランでの重点取組	「ダムパークいばきた」の開業や大阪・関西万博の開催に伴い、これまでよりも多くの来訪者が見込まれ、これらの機会を生かし、市内での回遊や消費を促す取組が必要であることから、「コンテンツ造成」を重点取組として実施します。	
7	現状と課題 (中長期視点)	<ul style="list-style-type: none"> ダムパークいばきたへの大阪府外からの来訪者の割合が少ない。 ダムパークいばきたへの来訪者の市内への周遊性が現状では乏しく、大半が日帰りとなり滞在時間も短い状況。 	
8	課題解決のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 特に市外に向けたプロモーションが必要。 市単独の取組だけでなく、近隣市町村と連携した取組が必要。 	
9	基本取組	コンテンツ造成★(重点取組) アクセス向上 プロモーション	

10	成果指標	成果指標	単位	目標値(実績値R8年1月末時点)				
				R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
		市と民間が協力して実施する観光振興事業の取組件数	件/年	3(5)	3	4	4	5
11	取組の評価	R7年度評価	評価理由(R7年度の取組の成果を踏まえた評価)					
		a	a: 順調に進行 b: おおむね順調に進行 c: 進行にやや遅れ d: 進行に大幅な遅れ	市と民間が協力して実施する取組は、ダムパークいばきたを含めた新たなツアーコンテンツの造成や、亀岡市と観光に関する連携協定を締結し双方の市広報で観光スポットを紹介するなど、観光に関する様々な取組を広げることができた。また、市内観光スポットをまとめたマップを作成し、市内外に配布した。目標値を達成していることから、「順調に進行」の評価とする。				
		—	—					
12	取組における課題 (今後の取組)	R7年度末現在の取組における課題						
		課題①	観光振興の土台作りとして、まずはダムパークいばきたへの来訪者を増やす取組が必要である。					
		課題②						